

【プレスリリース】

2026 年 9 月 2 日

報道関係各位

日本初展開の「LG StanbyME」シリーズが好調なスタート
持ち運べる 32 インチ 4K スクリーン「LG StanbyME 2 Max」、
Makuake 先行販売開始から 24 時間で応援購入総額 2,000 万円を突破

LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、アタラシイものや体験の応援購入サービス「Makuake」にて 2026 年 9 月 1 日(火)正午より先行販売を開始した「LG StanbyME 2 Max」(読み:スタンバイミー・ツー・マックス)が、販売開始から 24 時間で応援購入総額 2,000 万円を突破し、サポーター数も 150 人を超えたことをお知らせします。

本製品は、日本初展開となる「LG StanbyME」シリーズの最新モデルで、日本発売初日から多くのお客様にご支持いただいています。同シリーズは、2021 年に韓国で誕生して以降、スクリーンを固定された場所で使用するという従来の概念にとらわれず、利用シーンに合わせて自由に移動させる、新しい視聴スタイルを提案してきました。2025 年には韓国で約 3 分に 1 台のペースで販売され、現在は世界 23 以上の国と地域で販売されるなど、グローバル市場でも高い支持を獲得しています。

このたび Makuake で先行販売を開始した「LG StanbyME 2 Max」は、32 インチ 4K ディスプレイと最大約 4.5 時間駆動の内蔵バッテリーを搭載。キャスター付きスタンド、自立式スタンド、平置きなどの 3 つのスタイルに対応し、リビングやベッドサイド、キッチン、ワークスペースなど、好きな場所でコンテンツを楽しめます。また、Dolby Vision®と Dolby Atmos®, AI プロセッサー「Alpha8 AI Processor 4K Gen3」による高画質・高音質に加え、LG 独自の「webOS」による豊富なストリーミングサービスにも対応し、エンターテインメントから仕事・学習まで幅広い用途で活用できます。

Makuake での先行販売は 2026 年 10 月 30 日(金)22 時まで実施しており、期間中は特別価格でお求めいただけます。ぜひこの機会に、プロジェクトページにて詳細をご確認ください。

Makuake 内プロジェクトページ:https://www.makuake.com/project/lg_stanbyme/



【主な特長】

■32 インチ | 4K 解像度 (3840×2160) | Dolby Vision®・Dolby Atmos®対応

「LG StanbyME 2 Max」は、32 インチの 4K 解像度 (3840×2160) ディスプレイを搭載。大画面ならではの迫力ある映像と高精細な描写により、映画やドラマ、スポーツ観戦、ライブ映像などを臨場感たっぷりに楽しむことができます。

また、Dolby Vision®に対応し、明るさやコントラスト、色彩表現を最適化。映像本来の美しさを引き出しながら、よりリアルで奥行きのある映像体験を提供します。さらに、Dolby Atmos®にも対応しているため、包み込まれるような立体音響を実現し、映像と音の両面から没入感を高めます。



■Alpha8 AI Processor 4K Gen3 搭載 | AI による画質・音質の最適化

AI プロセッサー「Alpha8 AI Processor 4K Gen3」を搭載。世界中の映像データを学習した AI が、視聴中のコンテンツをリアルタイムで分析し、映像と音声を最適化します。

画質面では、映像ジャンルを自動認識して最適な映像表現へ調整する「AI 映像プロ」と、低解像度のコンテンツを高精細に補正する「4K AI アップスケーリング」に対応し、自然で美しい映像表示を実現します。音質面では、「AI サウンドプロ」により、バーチャル 11.1.2ch の立体的なサウンドへ変換するほか、コンテンツに応じて音質を自動調整することで、映画やスポーツ、音楽ライブなど、それぞれのコンテンツに適した視聴体験を提供します。



■キャスター付きスタンド/自立式スタンド/平置ききの3スタイル | 最大4.5時間駆動バッテリー内蔵

本モデルは、キャスター付きスタンド、自立式スタンド、平置ききの3つのスタイルで使用できます。キャスター付きスタンドに取り付けられれば、リビングからベッドサイド、キッチンまで、家の中のさまざまな場所へ自由に移動して利用可能。ディスプレイを取り外して自立式スタンドを装着すれば、テーブルや棚の上にも設置できます。さらに、平置きスタイルでは、テーブルの上に置いたり、寝そべったりしたままでの操作にも対応するなど、利用シーンに合わせた柔軟な使い方を実現します。

また、内蔵バッテリーにより最大約4.5時間駆動に対応。電源の位置を気にすることなく、映画やドラマの鑑賞などを好きな場所で楽しめます。場所や用途に合わせてスクリーンを自由に持ち運べるため、1台で家中をリビングのように活用できる新しいライフスタイルを提案する1台です。



■webOS 搭載 | AirPlay 2・Google Cast 対応

LG 独自の「webOS」を搭載し、本体をインターネットに接続するだけで、YouTube や TVer、Netflix、Disney+、Prime Video などの VOD アプリを含む 600 以上のアプリを通じて、ストリーミングコンテンツや Web ブラウジング、ゲームなどを楽しめます。また、AirPlay 2 と Google Cast にも対応しているため、スマートフォンやタブレットのコンテンツも手軽に大画面で視聴可能です。

さらに、USB Type-C および HDMI 入力を備え、ノート PC やゲーム機などの外部機器との接続にも対応。コンテンツ視聴はもちろん、リモートワークや資料作成、オンライン学習など、エンターテインメントから仕事・学習まで幅広いシーンで活躍します。



■縦横回転・高さ・角度調整対応 | オートピボット機能

ディスプレイは縦横回転に加え、キャスター付きスタンド利用時は高さや角度の調整にも対応しており、利用シーンやコンテンツに合わせて快適な視聴環境を実現します。

また、オートピボット機能により、ディスプレイの向きを変えるだけで画面表示も自動で切り替わるため、スマートフォンやタブレットのような感覚で使えます。



■付属ミニリモコン | タッチスクリーン | 音声認識対応

本体には、コンパクトな専用ミニリモコンを付属しており、離れた場所からでもスムーズに操作可能。本体にびたりと取り付けられるため、持ち運びの際もリモコンを紛失しにくく、必要な時にすぐ使えます。また、タッチスクリーンによる直感的な操作にも対応しています。

さらに、ハンズフリー音声認識機能を搭載。「Hi LG」と呼びかければ、音声によるアプリの起動や音量調整などが可能になります。^(※1)その他にも、別売りのマジックリモコン接続時^(※2)、または「LG ThinQ」アプリを利用することで音声認識機能を使用することができます。

(※1) ハンズフリー音声認識機能を有効化した場合に利用できます。

(※2) 2026 年発売のマジックリモコン(型番:MR26JP)のみ対応。



■LG Gallery+ | ムードメーカー

本モデルは、映像視聴だけでなく空間演出にも活用できます。5,000 点以上のアート作品を表示できる「LG Gallery+」に対応し、コンテンツを視聴していない時にはアート作品を表示できます。また、「ムードメーカー」機能は、時計や天気、ターンテーブルをモチーフにしたアニメーションコンテンツやお気に入りの写真などを表示し、空間の雰囲気や気分に合わせて演出が可能です。さらに、スマートフォンと接続することで、表示するコンテンツに合わせてお気に入りの音楽を再生することもできます。



【スペック】



キャスター付きスタンド使用時(左)と、自立式スタンド使用時(右)

製品情報	製品型番	32LX6BWGA
	JAN CODE	49-89027-034495
基本仕様	画面	32V 3840 × 2160 (4K)
	プロセッサ	Alpha 8 AI Processor 4K Gen3
	OS	webOS Smart TV
	接続端子	HDMI(1)、USB(4)
	HDMI仕様	最大60Hz(eARC(HDMI 1)、HDMI CEC、ALLM)
	通信	Wi-Fi 6E(IEEE802.11ax)、Bluetooth 5.3
	スピーカーチャンネル/出力方式	2.0ch サイドファイヤリング
	実用最大出力(JEITA)	10W(フルレンジ：2個/10W)
	外形寸法(W×H×D)/重量	スタンド装着時：テレビスタンド含む：72.4×130.8×42cm / 20.3kg ディスプレイ部：724×421×29mm / 5.6kg
	消費電力	定格消費電力：190W、待機消費電力：0.5W
	リモコン	ミニリモコン(CR2032乾電池×1)
	壁掛け	—
画質機能	映像補正	● (AI映像プロ)
	アップスケーリング	● (α8 AI Super Upscaling 4K)
	HDR	● (Dolby Vision / HDR10 / HLG)
	ダイナミックトーンマッピング	● (ダイナミックトーンマッピングプロ)
	FILMMAKER MODE™	●
	自動ジャンル選択	● (SDR/HDR)
	AI輝度	●
	オートキャリブレーション	●
音質機能	映像モード	9モード (パーソナルピクチャー、あざやか、標準、省エネ、ゲームオブティマイザ、FILMMAKER MODE、エキスパート (明るい空間、昼間)、エキスパート (暗い空間、夜間))
	Dolby Atmos®	●
	AIサウンド / AIサウンドプロ	● (α8 AIサウンドプロ)
	クリアボイス	●
	バーチャルサウンド	● (11.1.2ch)
エンターテインメント機能	パーソナルサウンドウィザード	●
	可変リフレッシュレート (VRR)	—
	ゲームオブティマイザ	●
	ゲームダッシュボード	●
便利機能	Dolby Vision for Gaming	●
	AIチャットボット	●
	音声検索	● (要マジックリモコン)
	ハンズフリー音声検索	●
	AIエージェント	● (要マジックリモコン)
	AIコンシェルジュ	● (要マジックリモコン)
	Google アシスタント	●
	IoT関連機能	Google アシスタント、Apple HomeKit、Matter
	モバイル機器連携機能	スクリーンシェア、LG ThinQ アプリ、Google Cast、AirPlay 2
	ウェブブラウザ	●
その他	梱包サイズ / 重量	1320×189×520mm / 23.8kg

※ 本スペックシートは2026年8月6日現在のスペックです。仕様は製品の品質向上等により変更される場合がありますので、予めご了承ください。

※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■ブランドスローガン「Life's Good」に込めた想い

「Life's Good」という LG エレクトロニクスのブランドスローガンは、消費者のニーズが多様化する中、より良い生活のため「世界中のお客様をワクワクさせ、感動を提供する」という想いを象徴的に表現しています。LG エレクトロニクスはこのスローガンのもと、革新的なスマートソリューションを通じた「Innovation for a Better Life」というミッションを掲げ、主役であるお客様の日常をより豊かに、より健やかに、より創造的なひとときを堪能する喜びをもたらしてまいります。また、持続可能な社会の実現に向け、循環型社会の構築に着手しています。2030 年までに、二酸化炭素排出量を 50%削減(2017 年比)し、2050 年までに再生可能エネルギーに完全移行することを公約とし、炭素排出量の削減や環境に配慮したエコプロダクト設計の製品を通して、国際的な責任を果たしてまいります。

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp/>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周(ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。
テレビ、モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、衣類ケア家電、空気清浄機、衣類乾燥除湿器の販売、デジタルサイネージ事業、車載用機器やソリューション事業等。

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、75,000 人以上の従業員を擁しています。
「ホーム・アプライアンス・ソリューション」、「メディア・エンターテインメント・ソリューション」、「ビークル・ソリューション」、「エコ・ソリューション」の 4 カンパニー制で、2025 年の世界売上高は約 89.2 兆ウォン(KRW)。テレビ、生活家電、エア・ソリューション、モニター、車載用機器やソリューションにいたるまで、消費者および業務用製品を製造する世界有数の総合家電ブランドとして、お客様の生活を Life's Good にするための提案をし続けています。